

社会保障常任委員会における重点課題（課題、方針等）

令和8年4月21日

福 島 県

（課題・方針等）

我が国は、本格的な「少子高齢化・人口減少時代」に直面しており、政府においては、2040年を見据え「全世代型社会保障」構築に取り組んでいるが、制度の見直しに当たっては、持続可能性を高めるための取組が不可欠である。

社会経済情勢の変化に適切に対応し、地域の実情に応じた質の高い医療・介護を将来にわたって効率的・効果的に提供できる体制の構築に向け、以下の項目について提言する。

（主な提言項目）

1 医療提供体制の構築

- ・新たな地域医療構想の策定に向けた各種支援体制の確保・財政的支援、関係機関の負担軽減に係る技術的支援
- ・中東情勢を踏まえた医療機器等の安定的な供給体制の確保
- ・経営状況の丁寧な把握や実態を踏まえた経営支援、社会経済情勢を反映した適切な報酬措置による医療機関等の経営安定化
- ・医療DXの推進
- ・地方の実情を十分に認識した上での「医師偏在是正に向けた総合的な対策パッケージ」を推進するための具体的スキーム等の早期提示
- ・感染症危機等の事態に備えた体制整備

2 介護サービス提供体制の確保

- ・介護職への理解促進、多様な人材の確保、更なる処遇改善
- ・経営状況の丁寧な把握や実態を踏まえた経営支援、社会経済情勢を反映した適切な報酬措置による介護事業所の経営安定化

3 健康長寿社会の実現

- ・健康づくりに向けた取組への財政支援・人材確保推進
- ・在宅医療と介護の連携促進

4 医療・介護保険制度の安定的運営

- ・持続可能な医療・介護保険制度のための財源確保
- ・高額療養費制度を始めとする制度見直しに際しての丁寧な検討と国民・関係者への十分な配慮